

次の100年につなぐ ～未来への期待～



市長あいさつ



那霸市長
城間 幹子

はいたい。ぐすーよー ちゅーうがなびら。

昨年は、1921年(大正10年)に市制が施行され100周年の節目となりました。

100年の歴史の中で、先人たちが積み重ねてきた歴史や文化が、今日の那霸市を築き上げています。そして、2022年。本市は次の100年に向けて歩み出しました。那霸市の「風格」に、更に厚みと高みを加え、県都としての新たな歴史を築いていくことに尽力してまいります。

さて、今回の市勢要覧では、次の那霸市を担う高校生から、未来の那霸市への期待について伺い、その内容を取りまとめました。生徒たちの多様な発想を是非ご覧ください。生徒たちの期待する未来像を実現するために、これからも市民と手を携えながら、誰もが夢と希望をもてる魅力あふれるまちづくりを進めてまいります。

ゆたさるぐとううにげーさびら

目次

市長あいさつ	1ページ
子どもたちより100年後の那霸市へ	2ページ
市制100周年記念事業	4ページ
市制100周年記念式典、議会100周年記念式典	5ページ
未来への視点 アプローチ まちの「仕次ぎ」	6ページ
まちづくりの将来像	7ページ
なはで暮らし、働き、育てよう！笑顔広がる元気なまち NAHA～みんなでつなごう市民力～ 5つのめざすまちの姿	8ページ
○多様なつながりで共に助け合い、認め合う安全安心に暮らせるまちNAHA	9ページ
○互いの幸せを地域と福祉で支え合い 誰もが輝くまちNAHA	10ページ
○次世代の未来を拓き、豊かな学びと文化が薫る 誇りあるまちNAHA	11ページ
○ヒト・モノ・コトが集い、育ち、ひろがる 万国津梁のまちNAHA	12ページ
○自然環境と都市機能が調和した 住みつづけたいまちNAHA	13ページ
姉妹都市・友好都市・交流連携都市	14ページ
那霸のイベント	15ページ
位置と市域 市のシンボル	16ページ
市歌	17ページ
指定文化財一覧	18ページ
データで見る那霸	19ページ

子どもたちより、

100 年後の那覇市へ



那覇市は、1921 年に市制が施行され、2021 年で 100 周年を迎えました。

これまでの 100 年には、第 2 次世界大戦からの復興、本土復帰、首里城の復元・焼失、感染症の拡大など様々な出来事がありました。

これからの中学生が那覇市の主役となる高校生に次の 100 年への期待を聞きました。

取材協力：沖縄県立首里東高等学校

ドラえもんの世界のように最新型の未来の機械や乗り物や道具で溢れている。最新技術で交通事故などがなくなる。犯罪が起こらない街。沖縄の県都・中心としての人気が世界中からあつまる。

母子家庭、父子家庭にもう少し優しい地域。子持ちの親が働きやすい地域。

高齢者が施設に入りやすくなり、一人で介護する人が減っている。スイーツなどが増えて、東京のように有名になっている。

色々な年齢の人が使えるセントラルパークの那覇版みたいな大きな公園がある。

性別について誰も嫌な思いをしない。子育てがしやすい。ドラえもんがいる。

ディズニーのようなテーマパークがある。飛行機に乗らなくても旅行に行ける。

沖縄の文化・伝統が根付くグローバルな市。

子どもも大人も遊べるアスレチックなどの遊び場が増える。道路に自転車レーンが当たり前にある。

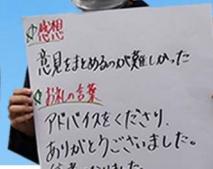
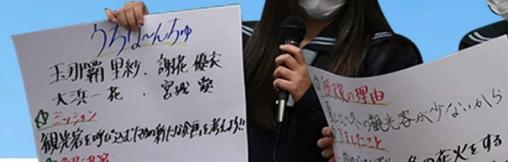
きれいな海など自然を保つ。もっと沖縄県に観光客が来る。

コロナがなくなりみんながマスクを外して外を歩いている。

渋滞が少なく市内のほとんどをバス等で 1 時間以内で行けたら。県外からの配達物を 2~3 日で届けられるような物流の発達したまち。時間帯によってネットが遅くならない快適なまち。

那覇市がより豊かになり、自然と調和したとてもきれいな場所。市民が暮らしやすくこれからも暮らしていきたいと思える那覇市。

自然と人工物のバランスが良くなっていて、環境問題が解決していて、色々な国から観光客が訪れている。基地内の遺跡を調査できるようになり、観光資源が増えている。渋滞とかヒートアイランド現象などの都市部の問題が解決。



ディズニーがある那覇市。自然が多い那覇市。住みやすい街 NO1 になっている那覇市。

モノレールが中部まで通る。国際通りがもっと賑わう。

若いピチピチのお姉さんがいっぱい。緑が増える。もっと遊ぶ場所が増える。

那覇から宜野湾までつながるモノレール。

もっと子育てしやすい環境になって。高齢者に優しい環境になって。

争いが無く普通に過ごしやすい環境

いつでも中部、北部に行けるようにモノレールを伸ばしたり直行で行ける電車ができる。沖縄にいるマンガースがすべて捕獲されヤンバルクイナが増える。米軍基地の数や米軍基地関係の事故が減っている。

今まで沖縄の中心と言えば那覇市だったので、100年後も沖縄の中心でいて。普段出かけることが少ない人達が行ってみたいと思える那覇市。いろんな人の要望を叶えることができるよう。

誰に対しても住みやすい。交通手段が増える。遊ぶところが増える。坂がなくなる。

戦争が起こることなく他の地域を含めてさらに中心な市。

那覇市に工場や会社がたくさんきて、雇用が増え沖縄の低所得が減る。モノレールなどの交通機関が充実。

コロナの完全版ワクチンがでて、みんながマスクを外して外に出る。車が空を飛んでいる。

近未来的な那覇市。感染症などの対応が早い。モノレールでどこでも行ける。

遊ぶ場所が増える。スポーツができる環境を整える。

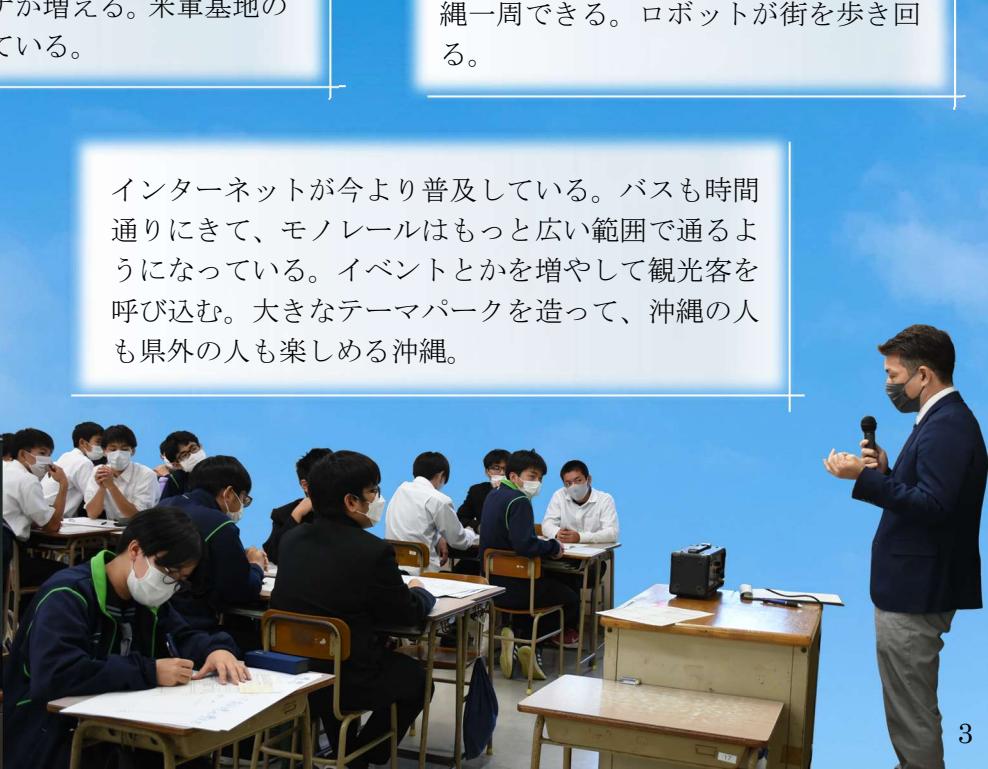
車が空を飛んでいる。首里城が復活している。昔の首里城が映像で見える。

ごみが少なく遊べたり勉強できる場所があつて自然もある那覇市

那覇市で沖縄版の紅白歌合戦を開催。最先端技術を駆使しながら那覇市を政令指定都市にする。

スマホで市内の店どこでも買い物ができる。車が空を飛ぶ。モノレールで沖縄一周できる。ロボットが街を歩き回る。

インターネットが今より普及している。バスも時間通りにきて、モノレールはもっと広い範囲で通るようになっている。イベントとかを増やして観光客を呼び込む。大きなテーマパークを造って、沖縄の人も県外の人も楽しめる沖縄。



February
2. 9

那霸市市制 100 周年 100 日前記念セレモニー

市役所 1 階ロビーで開催したセレモニーでは、沖縄工業高校の生徒が制作した残歴版が披露されました。



May
5. 15

「那霸 100 年の物語」 発売記念トークショー

ジュンク堂書店那覇店にて古塚達朗さん、新城和博さん、宮城一春さんによるトークショーを開催。



May
5. 20

那覇市 100 歳 誕生日セレモニー

市制施行記念日に 100 個の風船を飛ばしました。
記念モノレールの運行も開始。



100 周年記念ナンバープレートも交付しました！



October
10. 31

市制 100 周年 記念式典

那覇文化芸術劇場なはーとの開館記念と併せて開催した式典。華やかな舞台が披露され訪れた市民と 100 周年を祝いました。



November
11. 26

議会 100 周年 記念式典

市と同様に市議会も大正 10 年に初めての市議会が開催され、議場にて記念式典を開催し、琉球舞踊で華を添えました



未来への視点 アプローチ まちの「仕次ぎ」

市制100周年を迎えた本市にあっては、これまでの確かな歩みをさらに進めながら、次の100年にも思いを馳せなければなりません。100年を超える泡盛の古酒(クース)は、熟成された古酒に少しずつ新たな酒を加えていく丁寧な「仕次ぎ」により、その芳醇な香りとまろやかな風味を後世に引き継いできました。まちづくりも同様に、伝統の中にも新しい仕組みを取り入れること

が、まちにさらなる輝きと風格を生み、次世代へ引き継ぐことができるを考えます。次世代の笑顔が輝く那覇市になるよう、まちの「仕次ぎ」を意識して、これから100年を展望した、まちづくりにアプローチします。また、次の3つの「力」を未来を拓く重要な視点と位置づけ、全ての施策を遂行する上で、それぞれの視点を強く意識することとします。



那覇小学校区まちづくり協議会設立総会

☆「稼ぐ力」を高める視点

成長産業分野への対応力を強化しながら、新たな発想で土地の高度利用を促進し、時代を牽引する人材や企業の集積を進めるとともに、未来を拓く人材の育成とその能力が發揮される環境を整えることなどで、自律的な経済基盤を拡大させ、市民の暮らしを豊かにする、「稼ぐ力」を高める視点を意識します。



市無形民俗文化財 泊地バーリー

☆「つながる力」を広げる視点

小学校区を単位とし、自治会、学校、NPO、企業等が参画する新しいコミュニティや様々な地域資源が結び付くシステムを構築しながら、内外との交流の輪を広げるとともに、先人の知恵や工夫を次代へ継承することなどで、地域と人を幅広く縦横に結びつける、「つながる力」を広げる視点を意識します。



SDGsシンポジウム

☆「ひきつける力」が輝く視点

那覇らしい景観の実現や安全安心で快適な交通環境を整備しながら、郷土の歴史や伝統・文化を受け継ぐとともに、楽しく子育てできる環境や皆が笑顔で働く環境を整え、まちの魅力を高めることなどで、人々に、訪れたい、暮らしたい、働きたいと思わせる、「ひきつける力」が輝く視点を意識します。



まちづくりの将来像として
まちの姿を具体化するために掲げた
5つのめざすまちの姿
それぞれ独立するものではなく
互いに密接に連携しながら
那覇市の将来像を実現します

多様なつながりで
共に助け合い
認め合う安全安心
に暮らせるまち
NAHA

互いの幸せを地域
と福祉で支え合い
誰もが輝くまち
NAHA

5つの めざすまちの姿

次世代の未来を
拓き豊かな学びと
文化が香る誇り
あるまち
NAHA

自然環境と都市
機能が調和した住
み続けたいまち
NAHA

ヒト・モノ・コトが
集い、育ち、広が
る万国津梁のまち
NAHA

多様なつながりで共に助け合い、 認め合う安全安心に暮らせるまち NAHA



①



②

イチャリバチョーデーとユイマールの精神でおおらかなコミュニティを築きながら発展してきた那覇市は、個人や個性を尊重し、多様な生き方が認められる素地が整っています。あいさつからはじまる交流が世代を超えてつながり、市民みんなが主役となり楽しく安全安心に暮らせるまちをめざします。

そのために、お互いが思いやり譲り合いの気持ちであふれ、心と心が響きあい、紡ぎ合う協働によるまちづくりによって地域の力を高めていきます。小さな「わ」が大きな「Wa」*1へつながるように、自助、近助*2、共助、公助の役割を確認し、地域の人々と行政が対話を重ね、小学校区を対象としたまちづくりを進め、地域の課題解決に協働で取り組みます。

防災・防犯に関する活動などを通して、地域が結束した誇り高いまちづくりを進めます。さらに、国内外との交流の輪を広げ、恒久平和を希求する市民の想いを未来へと発信します。男女が対等な立場で活躍することや性の多様性を意識しながら、一人ひとりの人権が尊重され、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めます。

*1地域の通り会やサークルなどの小さなグループである「わ」が、様々なグループとつながることで市全体に大きく広がり、さらに、国際都市として調和した「Wa」へと発展させたいという想いが込められた市民提案

*2近助とは、共助より身近な地域で思いやりた譲り合いの心を基本にした自然に出てくる助け合いを指し、近年使われ始めた言葉で、人々をつなぐ絆への市民の願いが込められた市民提案

写真

- ①性の多様性を意識して、すべての人が生きやすい社会を考えた「2018ピンクドット沖縄」
- ②災害に備えた救助訓練「2019消防出初式」
- ③沿岸部に2016年建設された「那覇市津波避難ビル」



互いの幸せを地域と福祉で支え合い 誰もが輝くまち NAHA

超高齢社会の到来、少子化および核家族化が進行する中においては、地域のつながりがより重要になります。すべての人が自分らしく輝き地域の一員として見守り・見守られ心身ともに健やかで安心して暮らせるまちをめざします。

そのために、地域と世代がつなぐ支え合いにより、子どもも、お年寄りも、障がいのある人もない人も、皆が夢や生きがいをもち、地域の中で安心して暮らせるまちづくりを進めます。

また、誰もが健康で文化的な生活を営む環境を整え、特に夢や希望にあふれる子どもたちへのセーフティネットを拡げます。一人ひとりが自らの健康づくりに取り組むよう、市民の健康意識を高めるとともに、誰もが身近な地域で良質かつ適切な医療を受けられるまちづくりを進めます。住み慣れた地域で自分らしく暮らせるよう住まい、医療、介護、予防、生活支援が包括的に確保される体制を確立します。大災害や感染症などの原因により生じる健康危機から、市民や来訪者の健康を守る体制を整えます。

写真

- ①障がいのある人もいきいきと暮らせるまちへ「障がい者運動会」
- ②誰もが身近に医療を受けられるまちへ「デンタルフェア」
- ③史跡や市街地を巡る健康ウォーキング大会「ひやみかちなはウォーク」
- ④毎年、新百歳のお宅を訪問



次世代の未来を拓き、豊かな学びと文化が薫る 誇りあるまち NAHA



まちづくりは人づくりと言われるように、これから的新しい時代を切り拓く人材こそが重要となります。全ての成長過程にある子どもたちの主体性や創造性を育み、向上心に富む市民が、輝かしい未来に向かって歩む、豊かな学びと文化薫る、誇りあるまちをめざします。

そのために、地域全体で子どもの成長を応援し、市民が夢と希望にあふれ、子育てが楽しくなるまちづくりを進めます。保育や教育の充実のためには、家庭や地域、学校が一体となり、子どもたちをあたたかく見守る環境が重要であり、市内の小学校をそ

の拠点にします。子どもたちが知的好奇心を高め、自ら学び成長していくプロセスを応援とともに、その未来を拓く教育を推進する環境を整えます。いつもどこでもだれでも学びやスポーツを楽しめるまちづくりを進めます。

また、しまくとうばに身近に接するとともに、郷土の歴史や伝統文化などの価値を再確認する機会を創出し、それらにふれあい、受け継ぎながら、新たな文化を創造・発展させ、日常に文化が薫るまちづくりを進めます。



写真
①2018年国宝(建造物)に指定された玉陵
②国際通りを埋め尽くすエイサー隊「一万人エイサー踊り隊」
③全国優勝など目覚ましい活躍をした子どもたちに送る「青少年特別賞」



ヒト・モノ・コトが集い、育ち、ひろがる 万国津梁のまち NAHA



①



②



③

我が国の南の玄関口として、アジアに開かれた那覇市は、アジアのダイナミズムを取り込むことによる新たな時代の到来が実感できるようになりました。この機会を確実に捉え、国内外から優れたヒトやモノが集い、そこから新たなモノやコトの附加価値を生み出し、世界へ羽ばたくことで、飛躍感がみなぎる万国津梁のまちをめざします。

そのために、先人が築き上げた歴史と文化、亜熱帯特有の気候や自然環境を活かし国内外はもとより、外国からの旅行者が何度も訪れるくなる観光地としての地位を築きます。また、経済成長の著しいアジアにあって、主要都市との近接性等の地理的優位性を活かしたビジネスリゾートが融合する都市として新たな地位を築きます。

さらに、広域での幅広い連携のもと、リーディング産業である観光産業や市内に集積が進む情報通信関連産業はもとより、戦略的成長産業に位置付けられた国際物流関連産業など、様々な産業の活性化や成長・振興を図ります。また、マチグワーアリゾート等の地域資源を活かした地域の活性化を図るとともに、市民一人ひとりの働く力をさらに発揮できる労働環境を整え、商都としての活力を高めます。

*3昔ながらの商店街

写真
①アジアやヨーロッパから多くのクルーズ船が訪れる
②国際色豊かになる「那覇大綱挽つまり」
③建設中の「第一牧志公設市場」完成イメージ図

自然環境と都市機能が調和した 住みつづけたいまち NAHA



①

沖縄らしい亞熱帯庭園都市を形成してきた那覇市は、魅力にあふれ住みよいまちとして発展してきました。これからも低炭素社会の実現に向けた地球にやさしい環境共生都市と安全安心で快適な都市機能を調和させ、誰もが訪れたい、住みつづけたいまちをめざします。

そのために、市内にある貴重な自然環境と多様な生態系を後世に残し、環境再生活動に積極的に取り組むとともに、地球温暖化対策に資する取り組みを推進します。災害に強く、安全安心・バリアフリーで快適な道路や公園、交通システム、ライフラインである上下水道等に必要な都市基盤の整備とともに、市民や事業所との連携により、公園などのあり方を見直し、時代に適した再活用を図ります。

また、亞熱帯地域にふさわしい緑と水辺空間を保全・創出するとともに、西海岸に広がるウォーターフロントエリアの整備を進めるなど、那覇らしい景観を維持しながら快適で住みよいまちづくりを進めます。那覇軍港等の大規模空間については、将来的な経済発展を見据え、臨港・臨空の優位性等それぞれの特色が発揮される活用を検討します。



②



③



④



⑤

写真

- ①観光客と市民の憩いの場所
「波之上ビーチ」
- ②漫湖には様々な野鳥が訪れる
- ③竹筒にろうそくを入れた灯籠で
ライトアップ「新都心竹あかり」
- ④湿地センター周辺にはいろいろ
な生き物が生息
- ⑤新都心公園にフクギの歩道を
つくる「フクギの散歩道プロジェク
ト」

姉妹都市 友好都市 交流連携都市

姉妹都市 サンビセンテ市 (ブラジル連邦共和国)



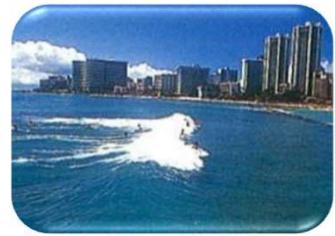
人口: 約30万人
面積: 約146平方キロメートル
1978年10月23日姉妹都市提携

姉妹都市 日南市 (宮崎県)



人口: 約5万4千人
面積: 約536平方メートル
1969年4月24日姉妹都市提携

姉妹都市 ホノルル市 (アメリカ合衆国)



人口: 約98万人
面積: 約1,556平方キロメートル
1961年1月10日姉妹都市提携



友好都市 福州市 (中華人民共和国)



人口: 約680万人
面積: 約12,153平方キロメートル
1981年5月20日
友好都市提携

友好都市 川崎市 (神奈川県)



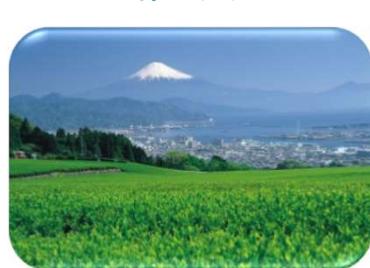
人口: 約146万人
面積: 約144平方キロメートル
1996年5月20日
友好都市提携

交流連携都市 金沢市 (石川県)



人口: 約46万人
面積: 約468平方キロメートル
2009年10月23日
交流連携都市提携

交流連携都市 静岡市 (静岡県)



人口: 約70万人
面積: 約1,412平方キロメートル
2009年2月3日
交流連携都市提携

那覇のイベント

4月

波の上ビーチ海開き
壺屋でシーサーの日

沖縄国際映画祭



5月

那覇ハーリー



6月

慰霊の日

7月

なはの日(7月8日)

8月

一万人工イサー踊り隊

9月

なは青年祭



10月

那覇大綱挽まつり
首里城祭



11月

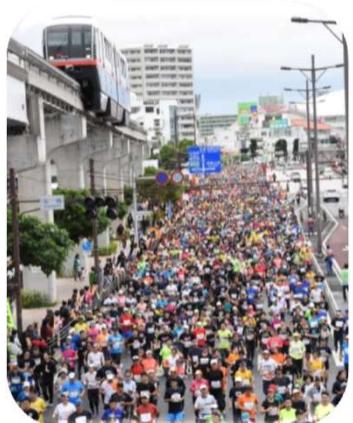
ひやみかちなはウォーク

琉球王朝祭り首里



12月

NAHAマラソン



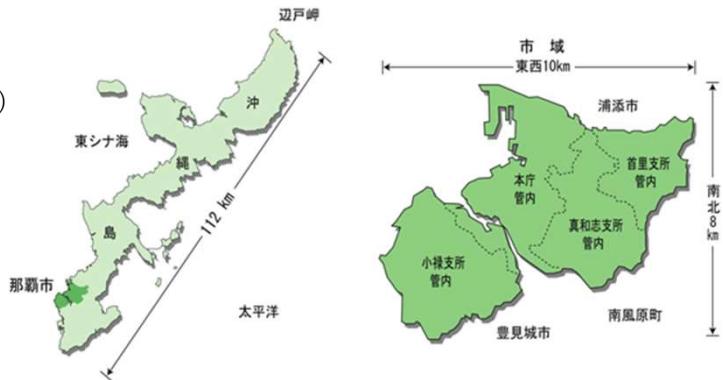
2月

**読売巨人軍
那覇キャンプ
なはさくらまつり**



位置と市域

那覇市の位置 北緯 $26^{\circ} 10'34''$ ～ $14'46''$
東経 $127^{\circ} 38'12''$ ～ $44'19''$ （市の位置）
那覇市面積 41.42km²（令和4年1月）



市のシンボル

【市章】



ナハの字を円形に図案化し、無限に膨張発展する那覇市の姿を表しています。市制が施行された大正10年（1921年）に制定されました。

【市木 フクギ】



【市花 ブーゲンビレア】



【市花木 ホウオウボク】



【市魚 マグロ】



【市蝶 オオゴマダラ】



市歌



那霸市歌の制定については、戦前の資料が戦争で失われたため、正確なことは分かっていません。しかし、当時の新聞の記録や作詞家の安藤氏の当時の日記などから、制定されたのは、1929年（昭和4年）頃と推定されます。現在、市歌は市のさまざまな式典や行事などで演奏されています。

那霸市歌

作詞・安藤佳翠(1~3番)/那霸市歌選定委員会(4~7番) 作曲・宮良長包

一、あけぼの清き 南の 港にぎわう
まちはいらかの 数増して 弥栄えゆく わが那霸市
二、みどりも深き 奥武山 めぐる入江の 水なごみ
清き心に 諸人の むつみしたしむ わが那霸市
三、ゆかりも古き 波の上 あおぐ誠を 捧げもて
理想の自治に 進まなん 希望かがやく わが那霸市
四、御万人にぎわう 1マイル 誇れる郷土に 笑顔咲く
結の心で ともに生き 平和はぐくむ わが那霸市
五、守礼の邦の 万国津梁 城下町 歴史の息吹 受け継がん
六、緑の風の 那霸空港 生業薫る 小禄の地
若い力の 意気昂 ここにあり あしたをひらく わが那霸市
七、青松並木の 識名園 志ゆかしき 真和志の野
遠く海原 夢たくし 未来はばたく わが那霸市
世界をつなぐ わが那霸市

♩ = 96

あ け ぼ の き よ き み ん な み の
み な と に ぎ わ う も も ふ ね や
ま ち は い ら か の か ず ま し て
い や さ か え ゆ く わ が な は し

C F C
F C G7
C F E7 F G7
C F G7 C G7 C

指定文化財一覧

【那覇市内指定等文化財件数一覧】

	有形文化財(89件)								無形文化財(15件)				民俗文化財(16件)			記念物(53件)			選定保存技術	登録有形文化財	国県市別計					
	建造物(14件)				美術工芸品(75件)				芸能	工芸技術	空手・古武術	選択	有形	無形	選択	史跡	名勝・特別名勝	天然記念物								
建造物 国宝	寺院建築	城郭建築	橋梁	住宅	その他	絵画	彫刻	工芸品	書蹟	典籍	古文書	歴史資料														
国	1			2	1	3			2		2	2	5	5	2	1			2	6	5	2	2	6	47	
県		1	1	3		1	7	7	36	4	2	3	2	2	3	1			1	7	1	1			83	
市						1			1			2			1		3	10		28	2	1			49	
計	1	1	1	5	1	5	7	7	39	4	4	7	7	7	6	1	1	3	10	3	41	7	4	2	6	179

【那覇市所在世界遺産】

条約資産別	国内指定区分	名 称	登録年月日	所在地・所有者等
記念工作物	重要文化財(建造物) 記念物(史跡)	園比屋武御嶽石門	平成12年12月2日	首里真和志町1-7 那覇市
	重要文化財(建造物) 記念物(史跡)	玉陵	平成12年12月2日	首里金城町1-3、3-1 沖縄県、那覇市
遺 跡	記念物(史跡)	首里城跡	平成12年12月2日	首里当蔵町3-1、1-1 国、沖縄県
	記念物(特別名勝)	識名園	平成12年12月2日	字真地421の1ほか 那覇市外

統計・資料

データで見る那覇

—Index—

市民の生活	1
那覇市の一日常	2
統計から見た那覇市	3
国勢調査人口の推移	5
自然動態	5
人口の年齢別構造	6
人口ピラミッド	6
都市計画地域	7
気象	7
経済センサス	8
那覇空港の旅客数と貨物量	8
消費物価指数	9
一世帯あたり1か月間の消費支出割合	9
自動車保有台数	10
生活保護の状況	10
月別火災件数	11
救急活動状況	11
入域観光客数及び観光収入の推移	12
航路別県外観光客数の構成比	12
一般会計	13
市税収入状況	13
産業中分類別商店数・従業員者数	14

《市民の生活 Life of Citizens》

人口密度

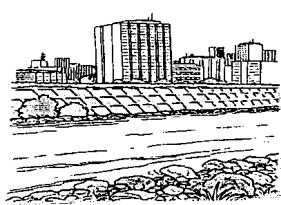
(令和2年12月31日現在)
41.42km²(面積)



7,737人/km²

下水道普及率

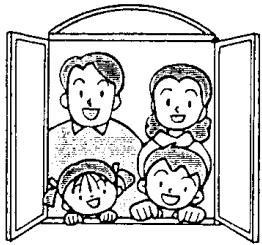
(令和元年度)



98.2%

1世帯あたりの人員

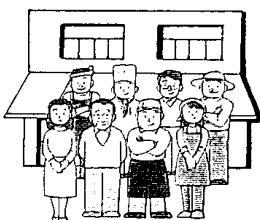
(令和2年12月31日現在)



2.1人

小売業の年間販売額

(平成26年7月1日現在)



11,426万円

公園面積

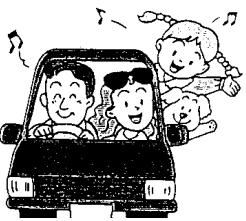
(市民1人あたり)
(令和2年4月1日現在)



6.31 m²

登録・届出保有自動車数

(乗用自動車1世帯あたり)
(令和元年度)



0.96台

市民所得

(市民1人あたり)
(平成29年度)



2,652千円

医療施設数

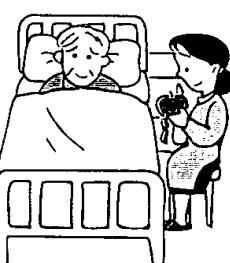
(病院・診療所・歯科診療所)



483ヶ所

(市民663人に1ヶ所)

病床数



3,569床

(市民90人に1床)

教員1人あたり

(令和2年5月1日現在)



**小学生→17.5人
中学生→14.7人**

進学率

(令和2年3月31日現在)



**高校進学率
→98.5%**

**大学進学率
→53.5%**

消防職員1人あたり

(令和2年4月1日現在)



市民1,113人

市職員1人あたり

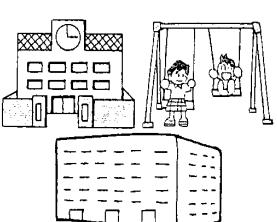
(令和2年4月1日現在)



市民150人

令和元年度歳出決算額

(一般会計)
(市民1人あたり)



471,067円

令和元年度市税

(市民1人あたり)



156,873円

注:「人口密度」「1世帯あたりの人員」は、平成31年12月31日現在の住民基本台帳人口による数値である。

「医療施設数」「病床数」は、平成30年10月1日現在。人口は、平成31年12月31日現在の住民基本台帳人口である。

「消防職員数」「市職員数」は、平成31年4月1日現在。人口は、平成31年12月31日現在の住民基本台帳人口である。

《那覇市の1日 A day of Naha City》

出 産

(令和2年)
(外国人を含む)



7.7人

死 亡

(令和2年)



7.6人

結 婚

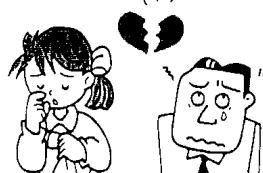
(令和2年)
(外国人を含まない)



4.7件

離 婚

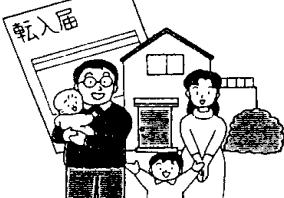
(令和2年)
(外国人を含まない)



2.1件

転 入

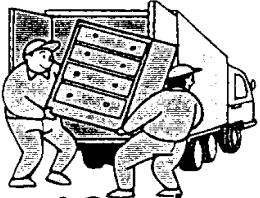
(令和2年)
(外国人を含む)



43.3人

転 出

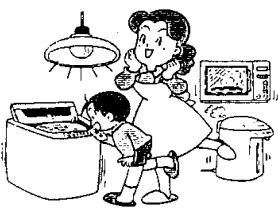
(令和2年)
(外国人を含む)



47.2人

電 気

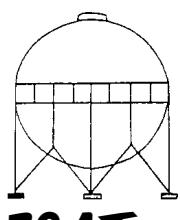
(令和元年度)



5,593千KWH

都 市 ガ ス

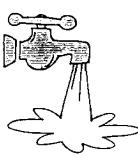
(令和元年)



79.4千m³

水道供給量1人あたり

(令和元年度)



329リットル

交通法令違反

(令和元年)
(那覇署管内)



60.4件

市 立 病 院

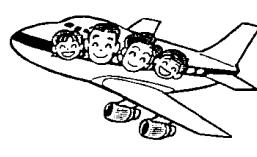
(令和元年)



92.8人

那覇空港乗降客

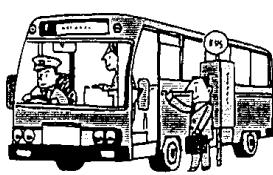
(令和元年)



乗客 29,797人
降客 29,820人

市内バス利用者

(令和元年度)



13,149人

ご み

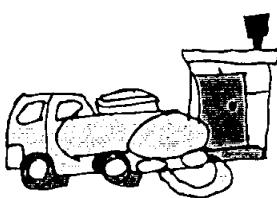
(令和元年度)



288トン

し 尿

(令和元年度)



14,207トン

火 災

(令和元年)



0.24件

交 通 事 故

(令和元年)



3.0件

救急車出動数

(令和元年)



57件

刑 法 犯 罪

(令和元年)



認知件数→ 4.9件
検挙件数→ 2.9件

市立図書館貸出冊数

(令和元年度)



3,633冊

注:那覇市の一日は、年間・年度間を365日で割ったものです。特にことわりのないものは、平成29年(1月～12月)の値です。

「図書館貸出冊数」は、中央図書館開館日数(273日)で算出。

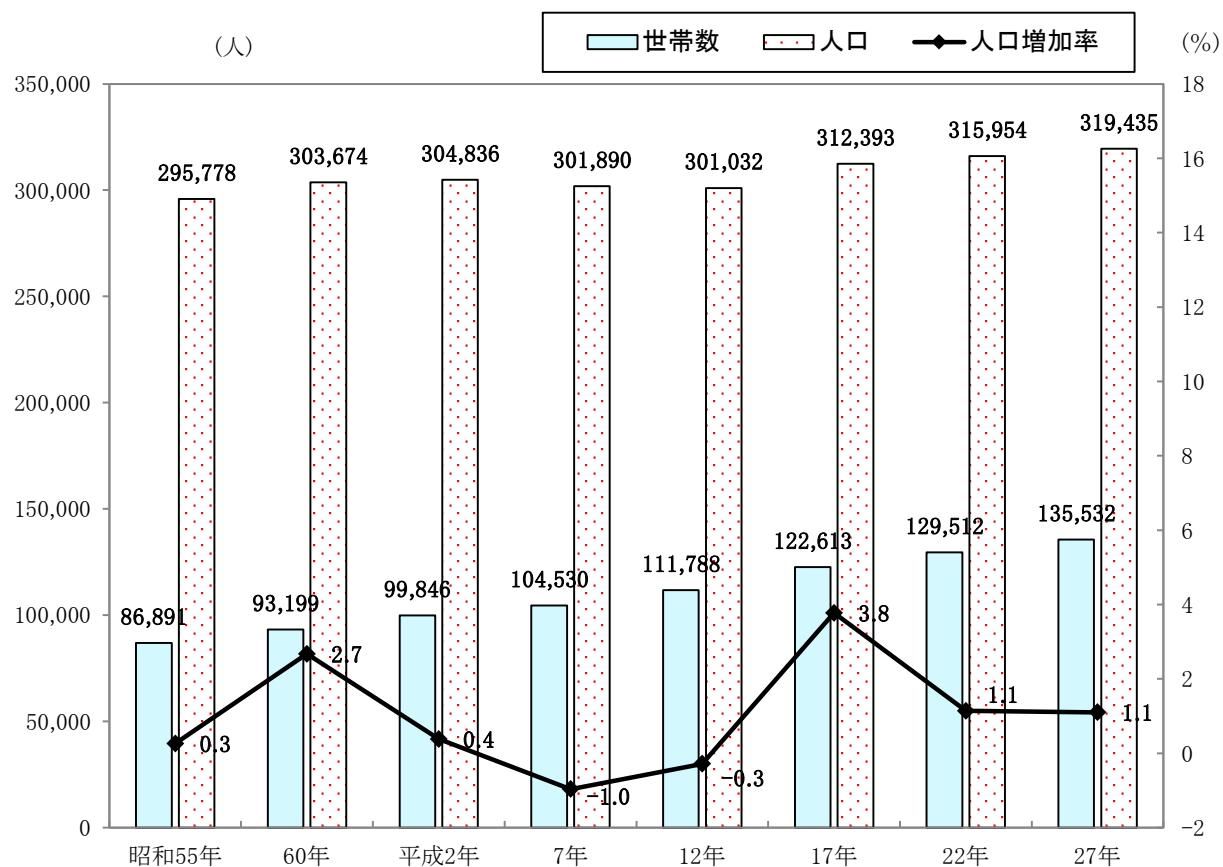
《統計から見た那覇市》

項目	数	期間・時点	備考
市域面積	41.42 km ²	令和2年10月1日現在	
国勢調査	世帯数	135,532 世帯	平成27年国勢調査 平成27年国勢調査推計の面積(39.57km ²)
	人口	319,435 人	
	人口密度	8,072.7 人	
	昼間人口	349,980 人	
	常住人口	319,435 人	
	人口集中地区面積	38.4 km ²	
	人口集中地区人口	318,151 人	
	第1次産業従業者数	840 人	
	第2次産業従業者数	12,475 人	
	第3次産業従業者数	101,142 人	
住民基本台帳	総数	155,472 世帯 320,467 人	令和元年12月31日現在
	本庁	52,178 世帯 99,651 人	
	真和志支所	51,477 世帯 104,325 人	
	首里支所	24,798 世帯 57,058 人	
	小禄支所	27,019 世帯 59,433 人	
	外国人(世帯・人口)	3,606 世帯 5,233 人	
転入者数	15,800 人	令和2年(年間)	
転出者数	17,255 人		
出生数	2,799 人		
死亡数	2,782 人		
婚姻届件数	1,733 件	令和2年(年間)	外国人を含まない
離婚届件数	757 件		
事業所数	17,339 事業所	平成28年6月1日現在	経済センサス-基礎調査
従業者数	156,031 人		
事業所数(製造業)	83 事業所	令和元年6月1日現在	工業統計調査 (従業者4人以上の事業所)
従業者数(製造業)	2,068 人		
製造品出荷額等	2,885,247 万円		
農家数	119 戸	平成27年2月1日現在	2015年農林業センサス
農家世帯員数(販売農家)	292 人		
経営耕地面積	5,561 a		
商店数	3,041 店	平成26年7月1日現在	商業統計調査
内訳	卸売業	693 店	
	小売業	2,348 店	
内訳	従業者数	21,354 人	
	卸売業	6,173 人	
	小売業	15,181 人	
内訳	年間商品販売額	76,913,717 万円	住宅・土地統計調査
	卸売業	50,085,273 万円	
	小売業	26,828,444 万円	
内訳	住宅総数(居住世帯なしを除く)	138,040 戸	住宅・土地統計調査
	持ち家	48,560 戸	
	借家	84,440 戸	
建物総数		54,215 棟	固定資産概要調書
令和2年1月1日現在			

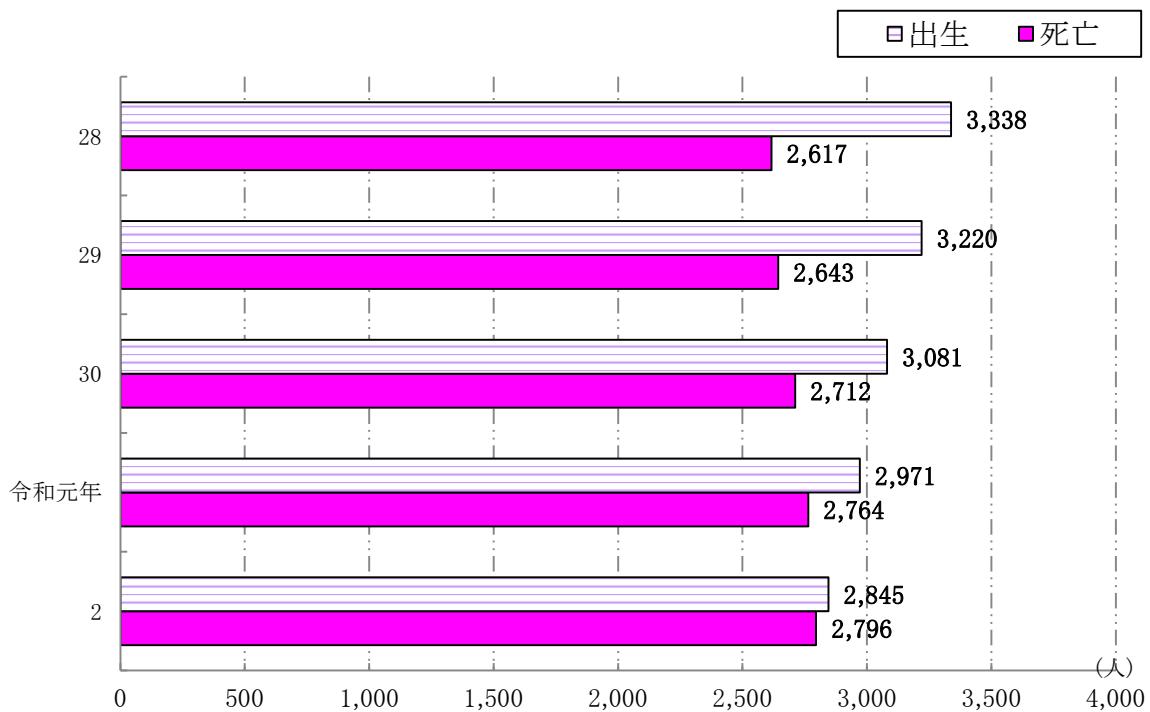
項目	数	期間・時点	備考
都市公園数	175 園		
都市公園面積	202.52 ha	令和2年4月1日現在	
市営住宅管理戸数	5,946 戸	令和2年3月31日現在	
電灯使用電力量	934,647,799 KWH	令和元年度(年度間)	
電力使用電力量	1,106,927,174 KWH		
都市ガス需要量	28,966,281 m ³	令和元年(年間)	
水道配水量	38,524,399 m ³	令和元年度(年度間)	
下水道普及率(人口)	98.2 %	令和元年度末現在	
1人あたり市民所得	2,652 千円	平成29年度	
消費者物価指数(総合)	102.3	令和元年平均	平成27年=100
消費者物価指数(食料)	104.4		
消費者物価指数(住居)	100.1		
消費者物価指数(光熱・水道)	106.1		
1世帯あたり消費支出(月平均)	210,593 円	令和元年平均 (二人以上の農林漁家世帯を含む)	家計調査(二人以上の世帯)
1世帯あたり消費支出(月平均)	240,482 円		
国民年金被保険者数	65,169 人	令和元年3月31日現在	
国民健康保険加入者世帯数	50,117 世帯	令和元年度平均	
国民健康保険被保険者数	79,461 人		
病院数	18 カ所	令和元年10月1日現在	
診療所数	283 カ所		
歯科診療所数	182 カ所		
病床数	3,569 床		
公害苦情件数	133 件	令和元年度(年度間)	
ごみ収集量	105,113 トン		
し尿処理量	5,186 KL		
交通事故件数	1,091 件	令和元年(年間)	
救急車出動件数	20,785 回		
火災件数	86 件		
NTT加入件数	33,708 件	令和元年3月31日現在	
保育所数・園児数	100 園 6,797人	令和元年4月1日現在	
幼稚園数・園児数	総数 6 園／ 679 人 市立 0 園／ 0 人 私立 6 園／ 679 人	令和2年5月1日現在	(※若夏分校を含む)
小学校数・児童数	36 校 19,641 人		
中学校数・生徒数	総数 20 校／ 9,985 人 市立 18 校※／ 8,693 人 私立 2 校／ 1,292 人		
高校進学率	98.5 %	令和2年3月31日現在	
大学・短大進学率	53.5 %		
市立図書館蔵書冊数	664,406 冊	令和2年3月31日現在	
選挙人名簿登録者数	258,904 人	令和2年9月1日現在	
歳入決算額(一般会計)	157,083,236 千円	令和元年度	
歳出決算額(一般会計)	150,961,514 千円		
歳入決算額(特別会計)	70,316,240 千円		
歳出決算額(特別会計)	68,978,545 千円		
市税収入済額	50,272,612 千円		
国民健康保険税調定額	4,746,670 千円		
市職員数	2,430 人	令和2年4月1日現在	

《グラフで見る那覇市》

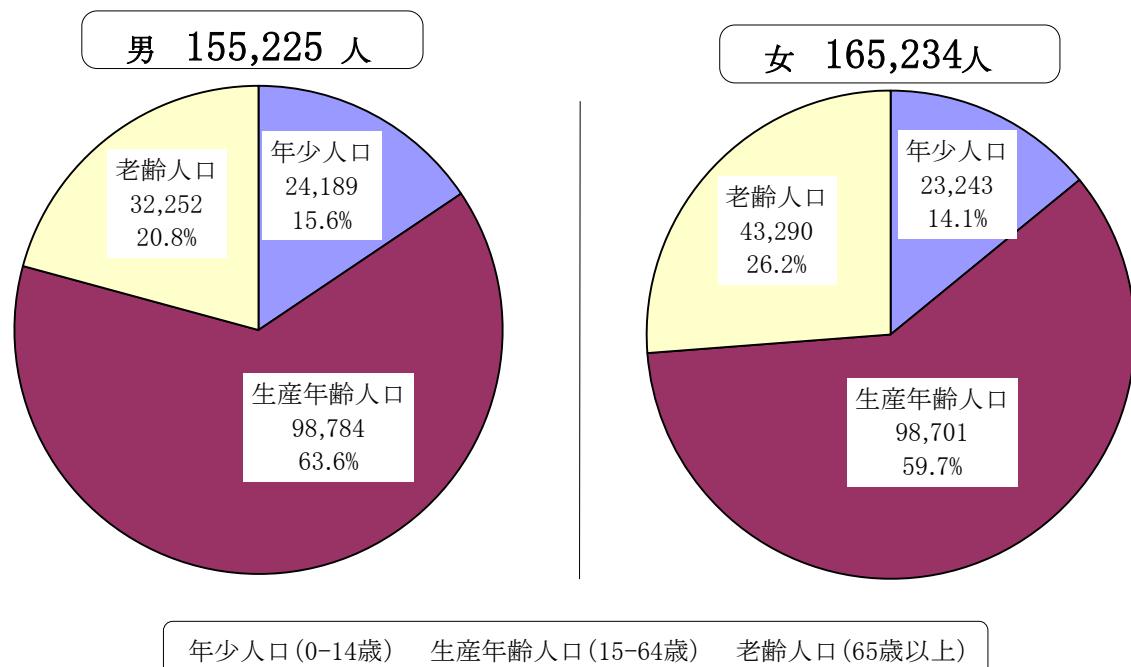
【国勢調査人口の推移】



【自然動態】(外国人を含む)

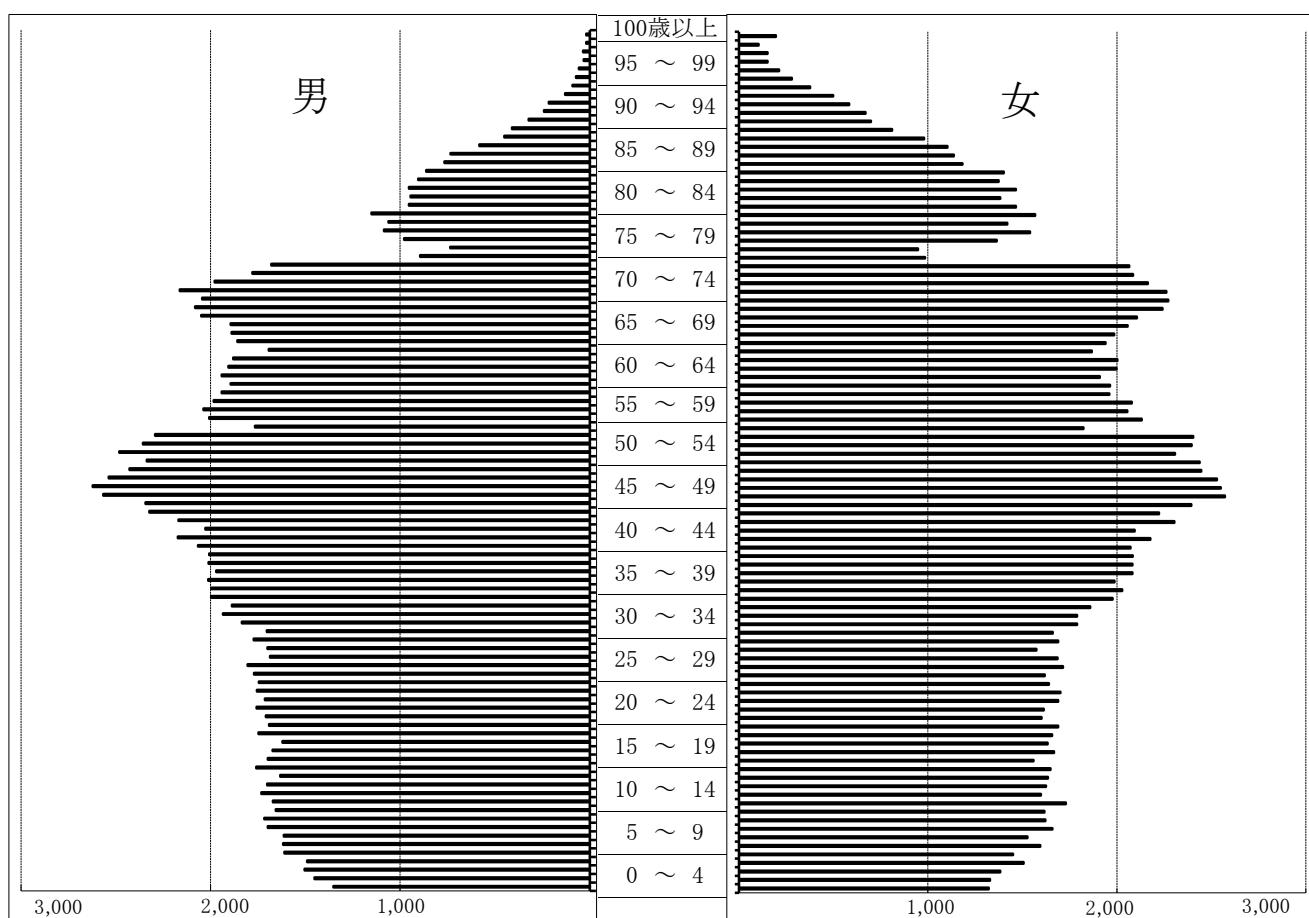


【人口の年齢別構造】(令和2年12月31日現在)

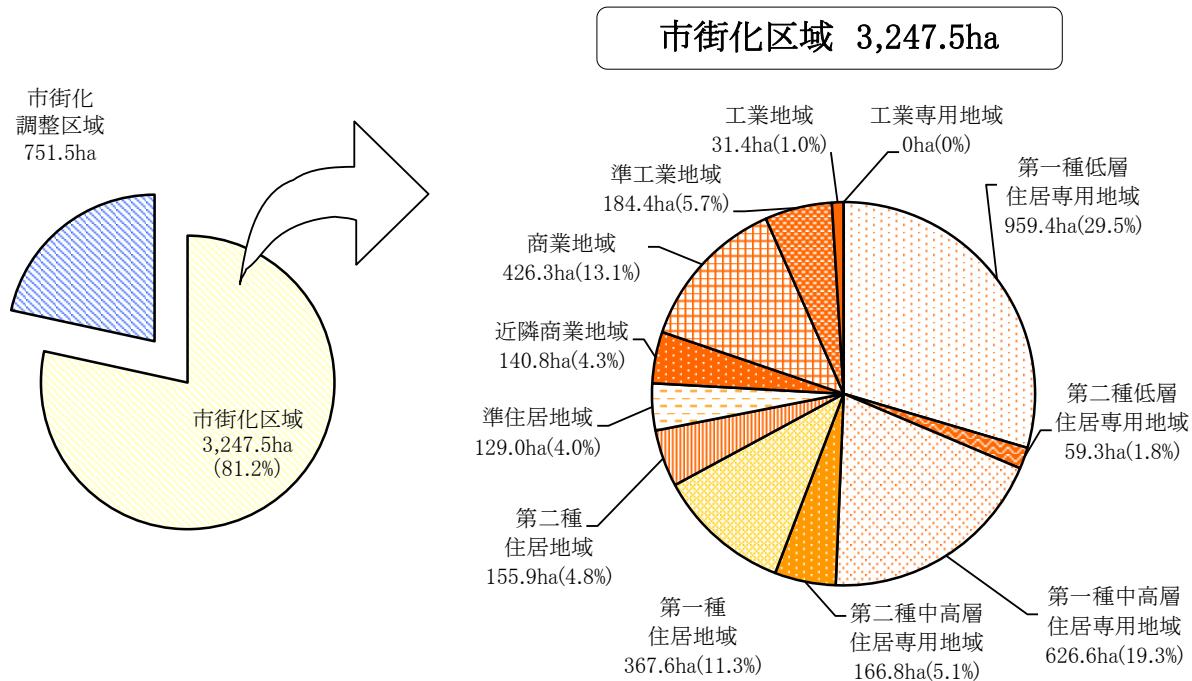


【人口ピラミッド】(令和2年12月31日現在)

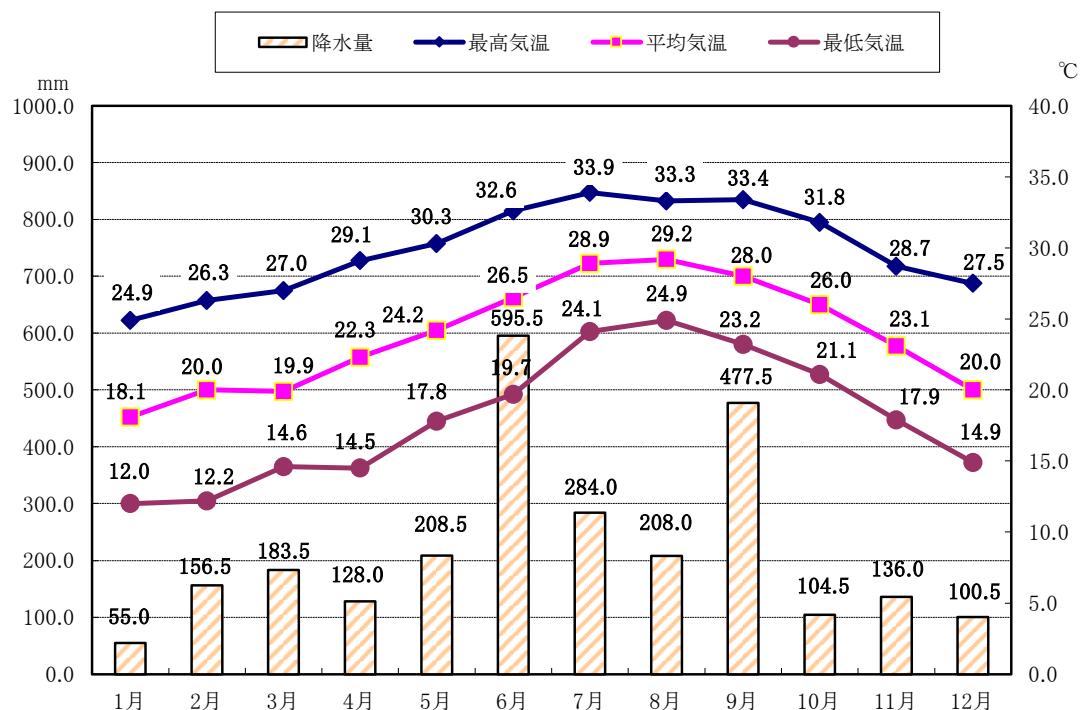
単位:人



【都市計画地域】(令和3年3月31日現在)

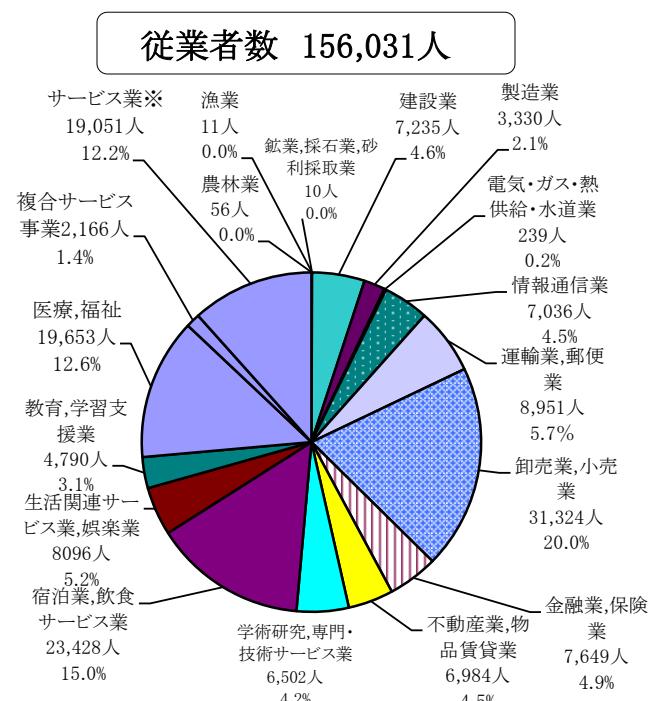
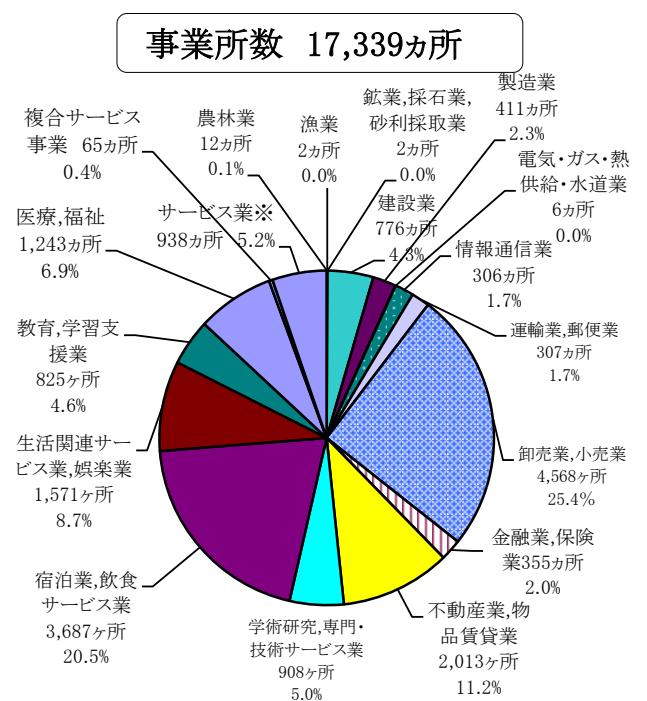


【気象】(令和元年)

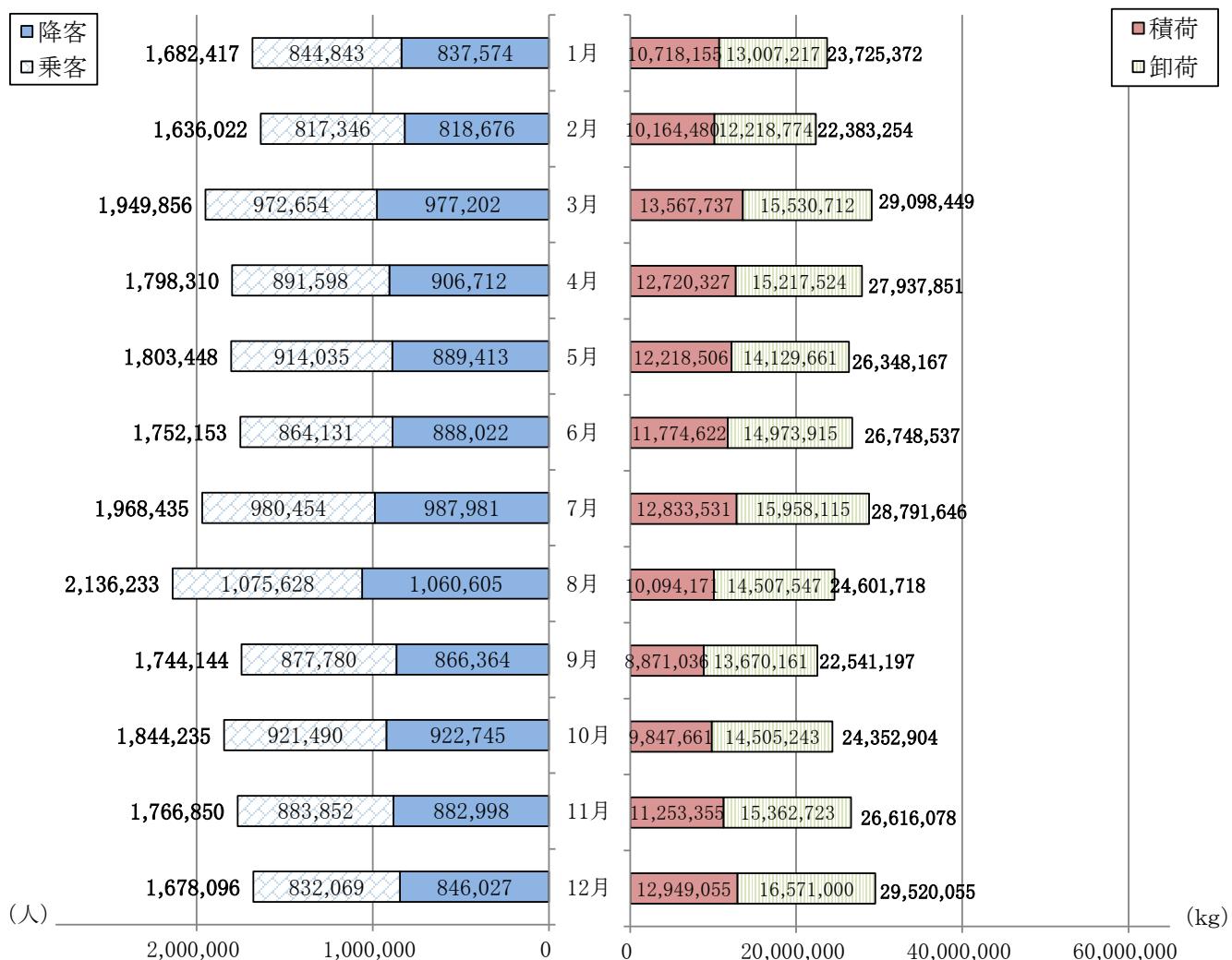


【経済センサス-基礎調査】(平成28年6月1日現在)

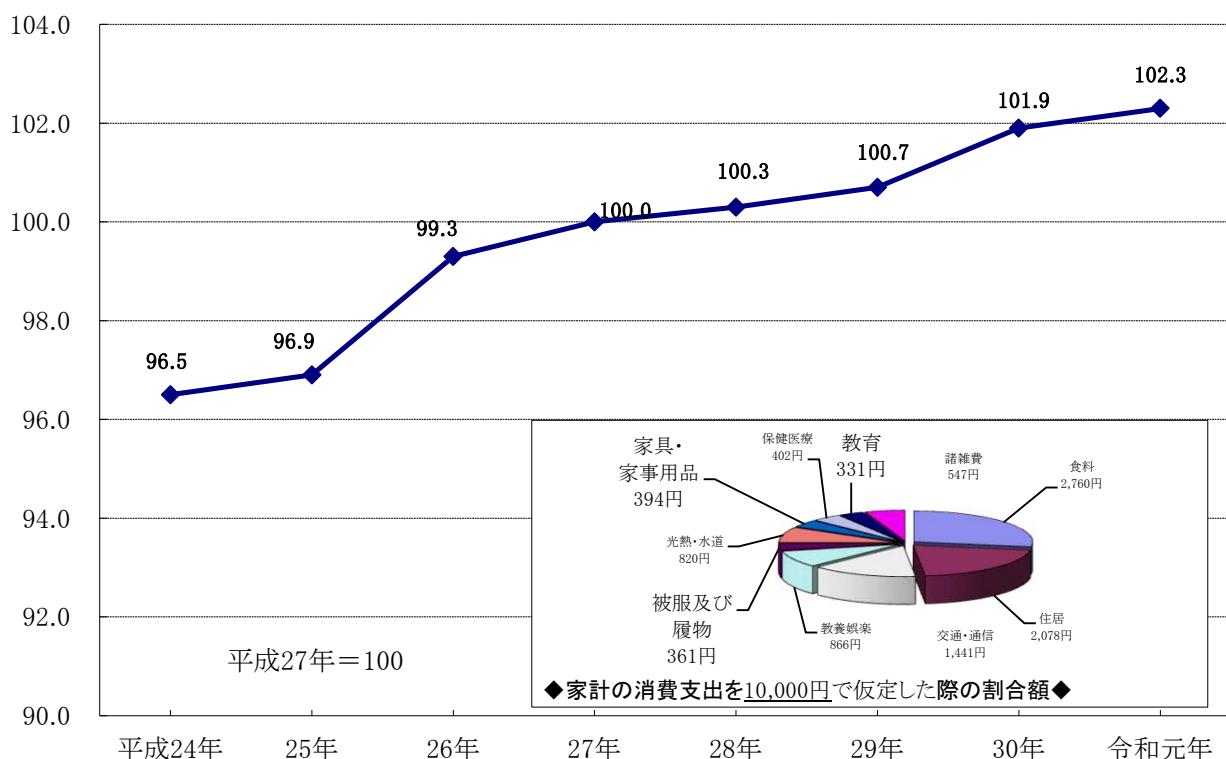
※サービス業は他に分類されないものである。



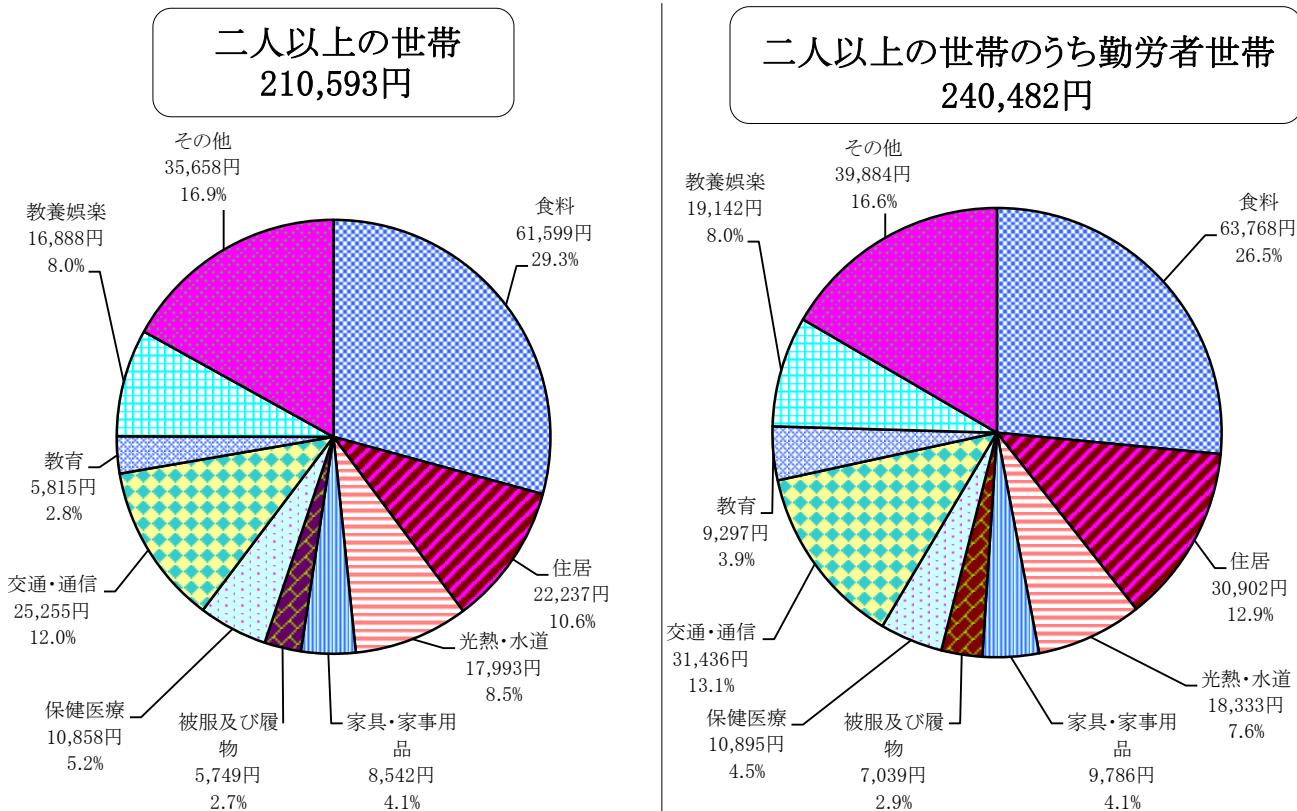
【那覇空港の旅客数と貨物量】(令和元年)



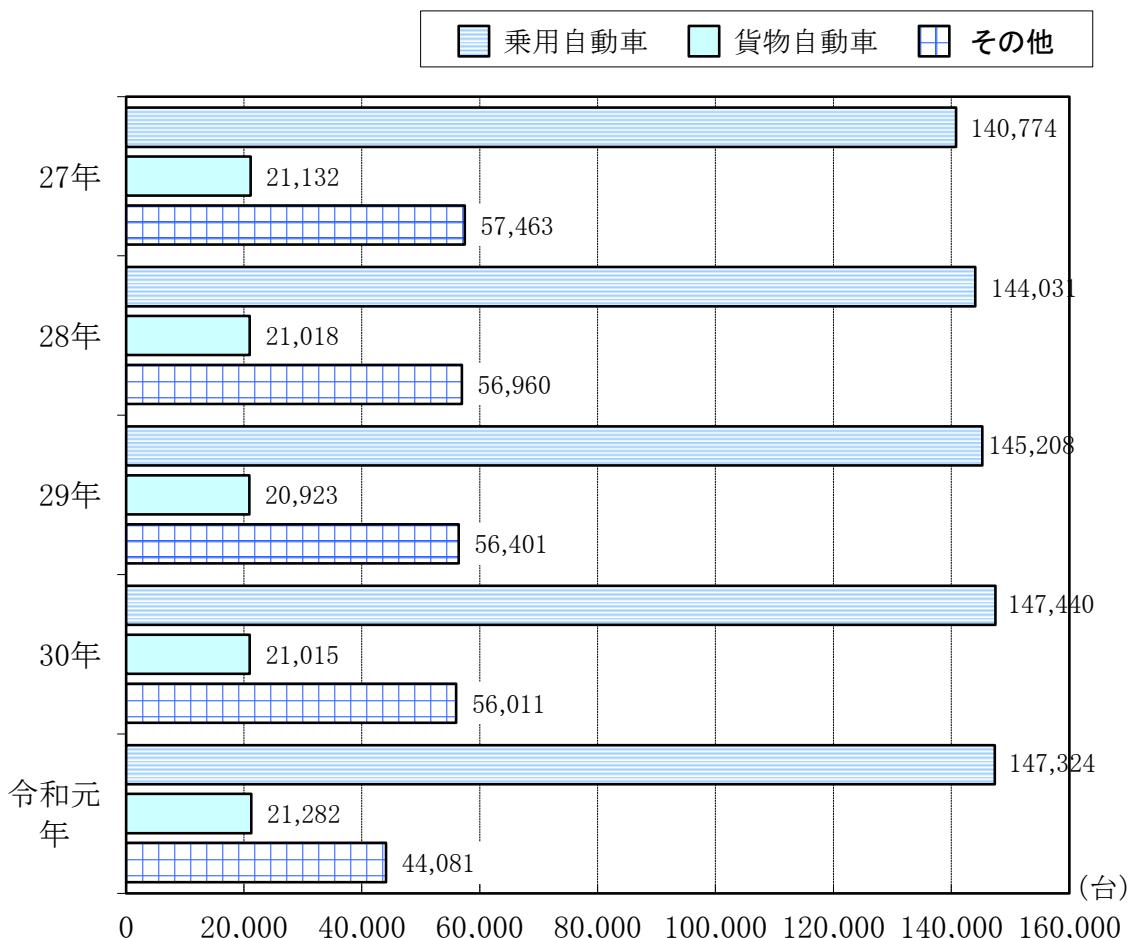
【消費者物価指数】



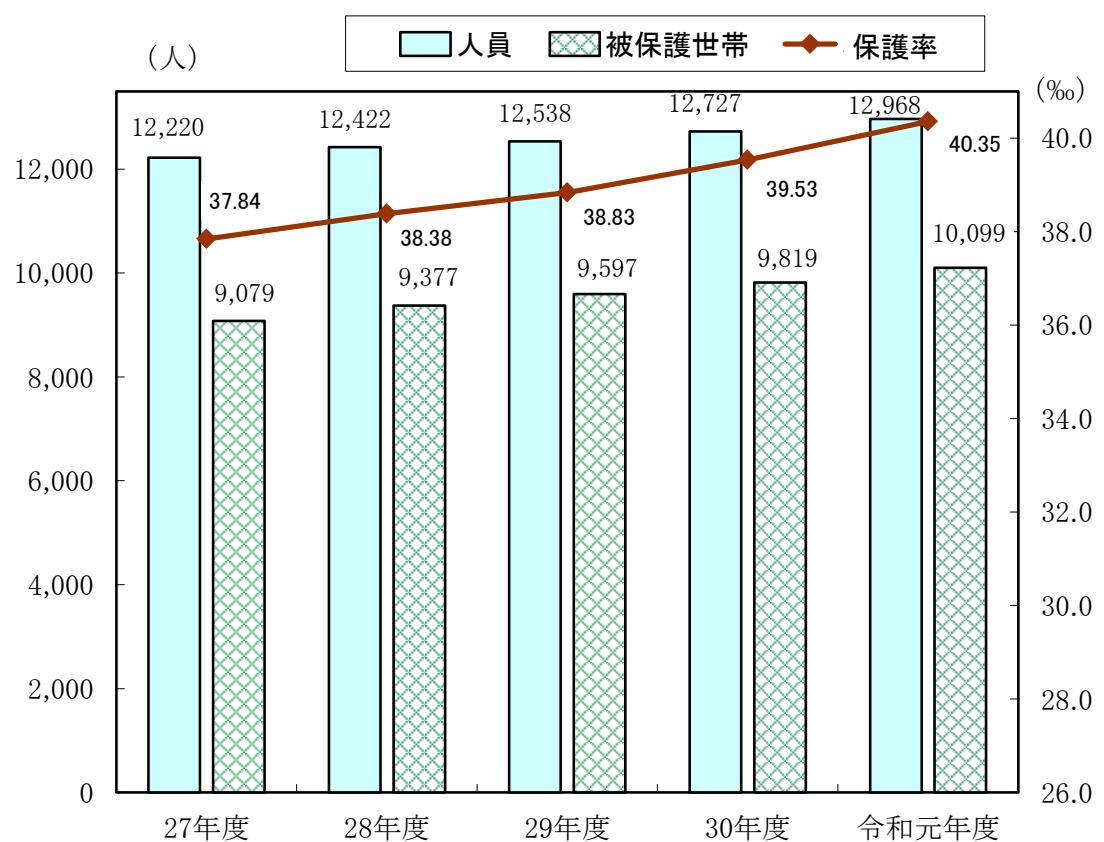
【1世帯あたり1ヶ月間の消費支出割合】(令和元年平均) 農林漁家世帯を含む



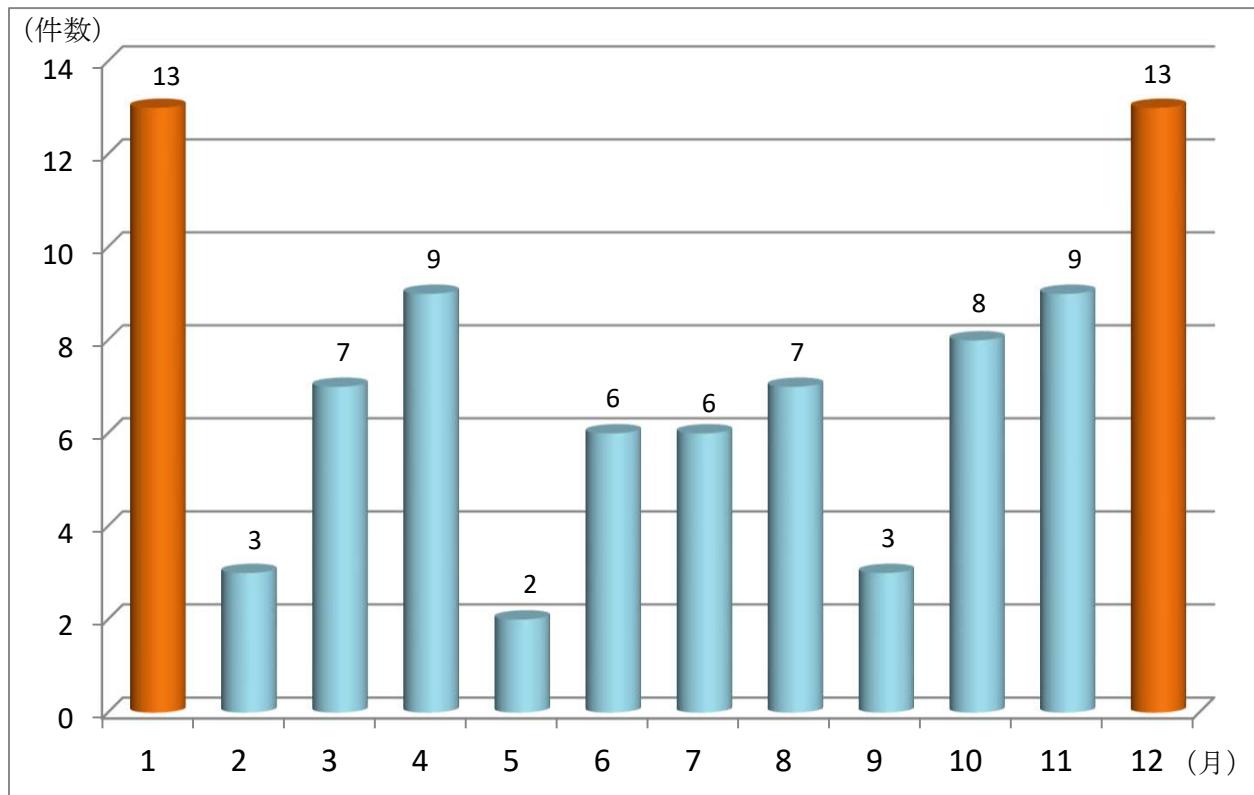
【自動車保有台数】



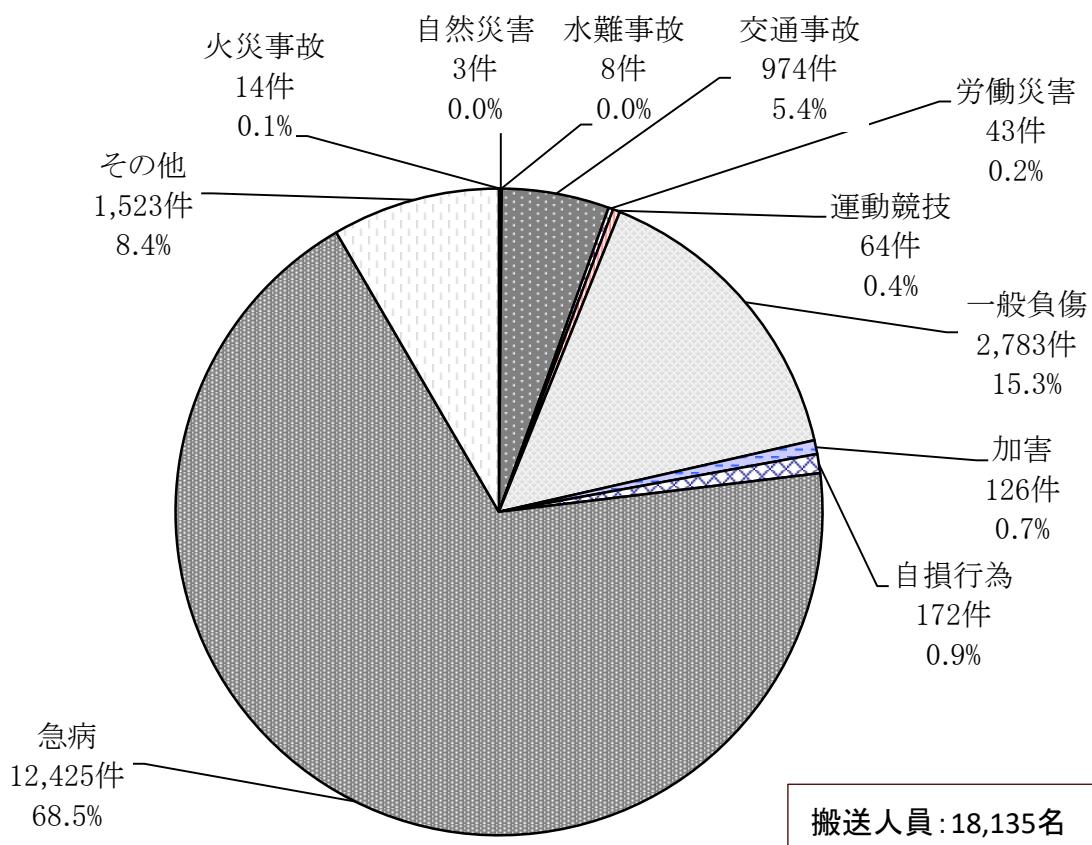
【生活保護の状況】



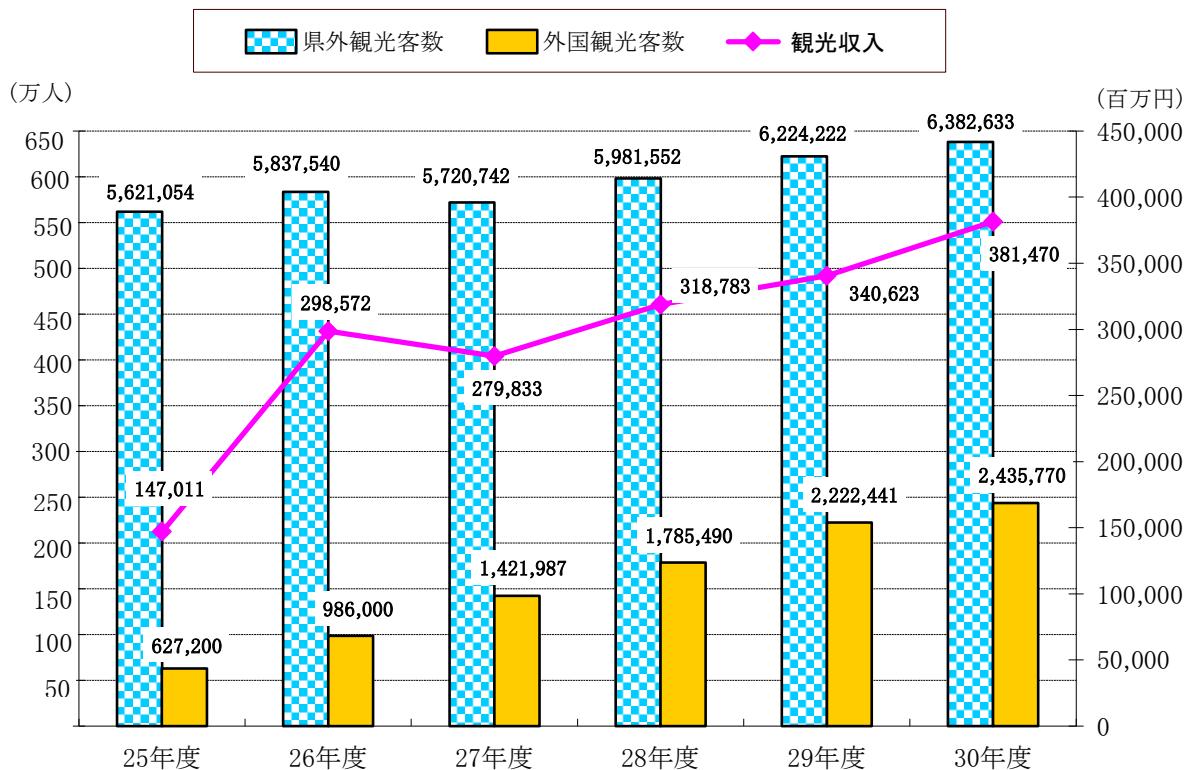
【月別火災件数】(令和元年 86件)



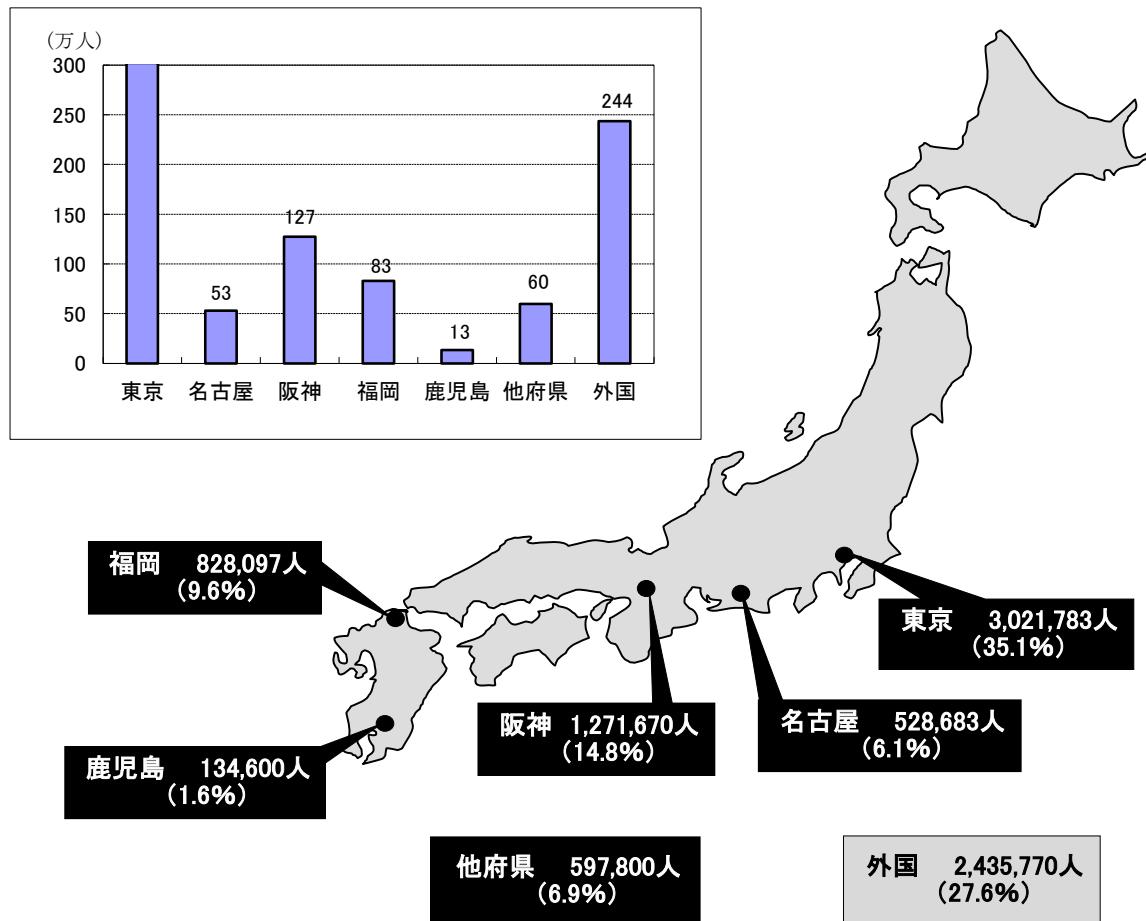
【救急活動状況】(令和元年 20,785件)



【入域観光客数及び観光収入の推移】

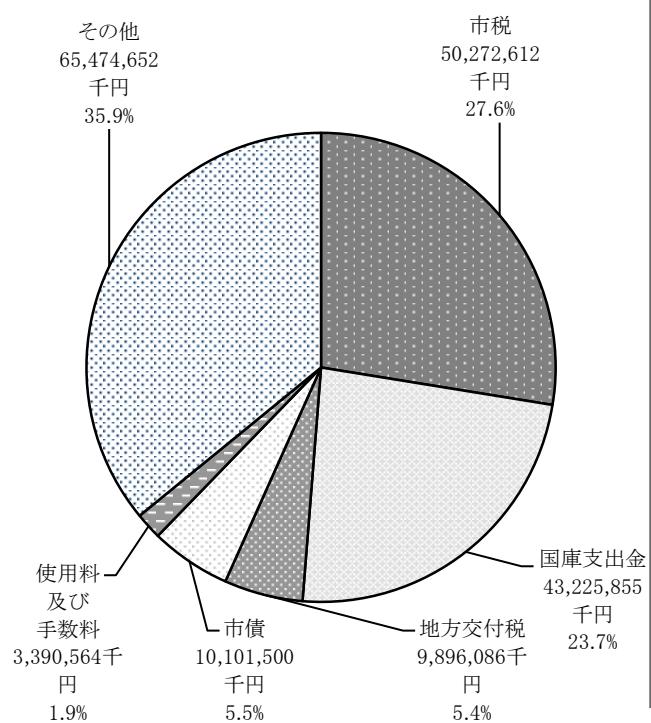


【航路別県外観光客数の構成比】(平成30年度 観光客総数 8,818,403人)

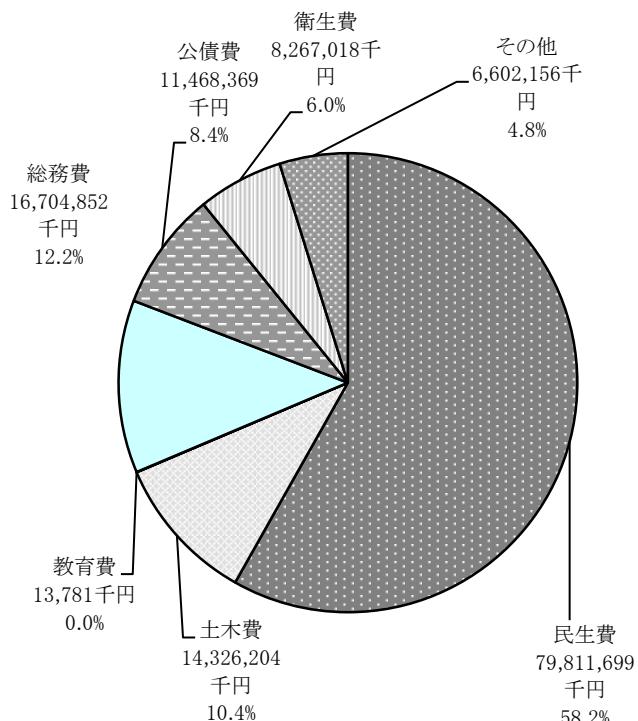


【一般会計】(令和元年度)

歳入 182,361,269千円

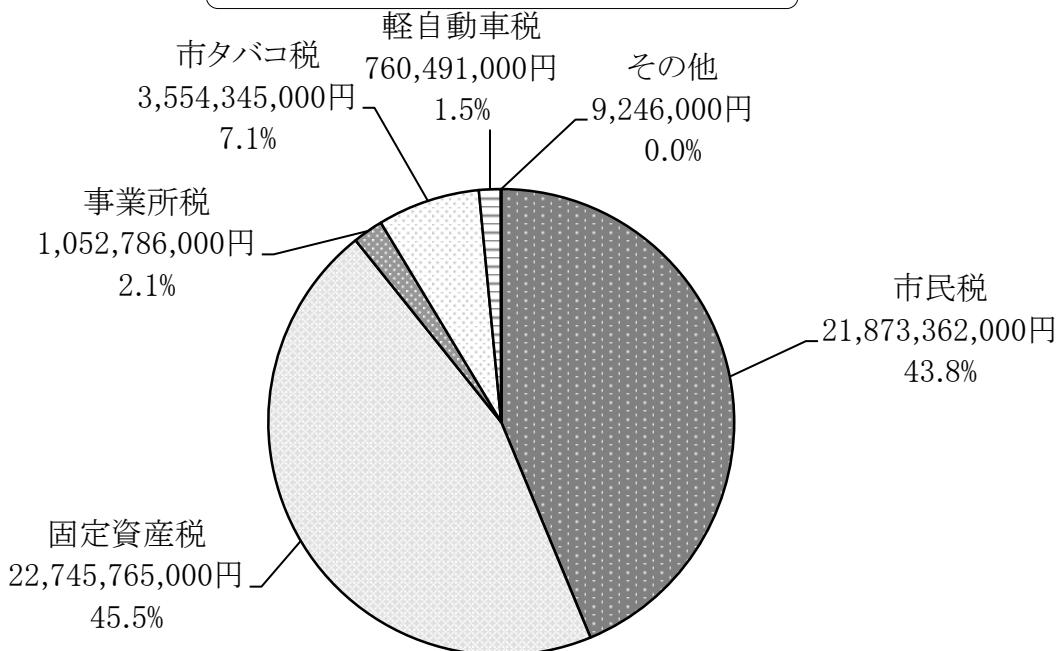


歳出 137,194,079千円

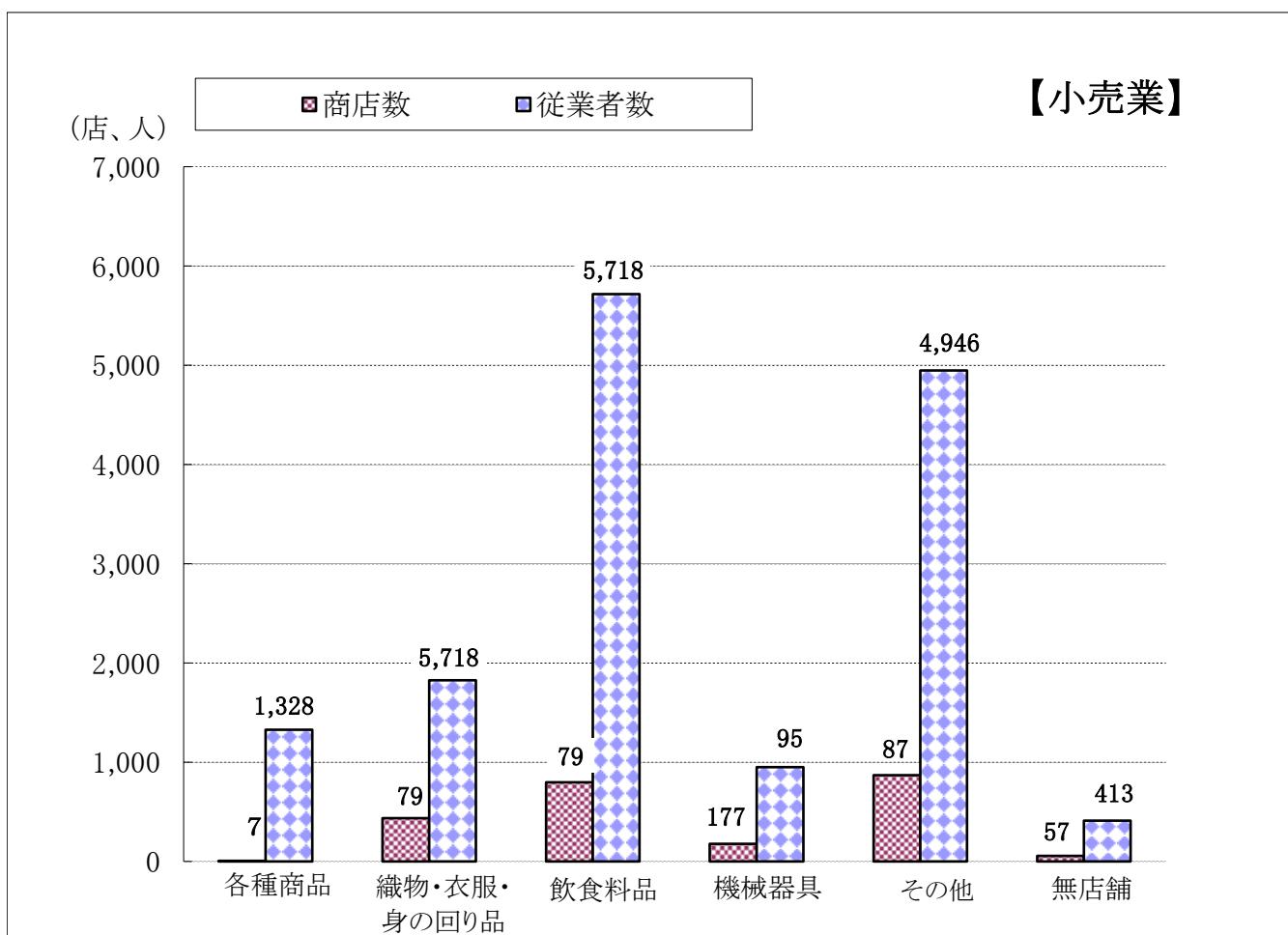
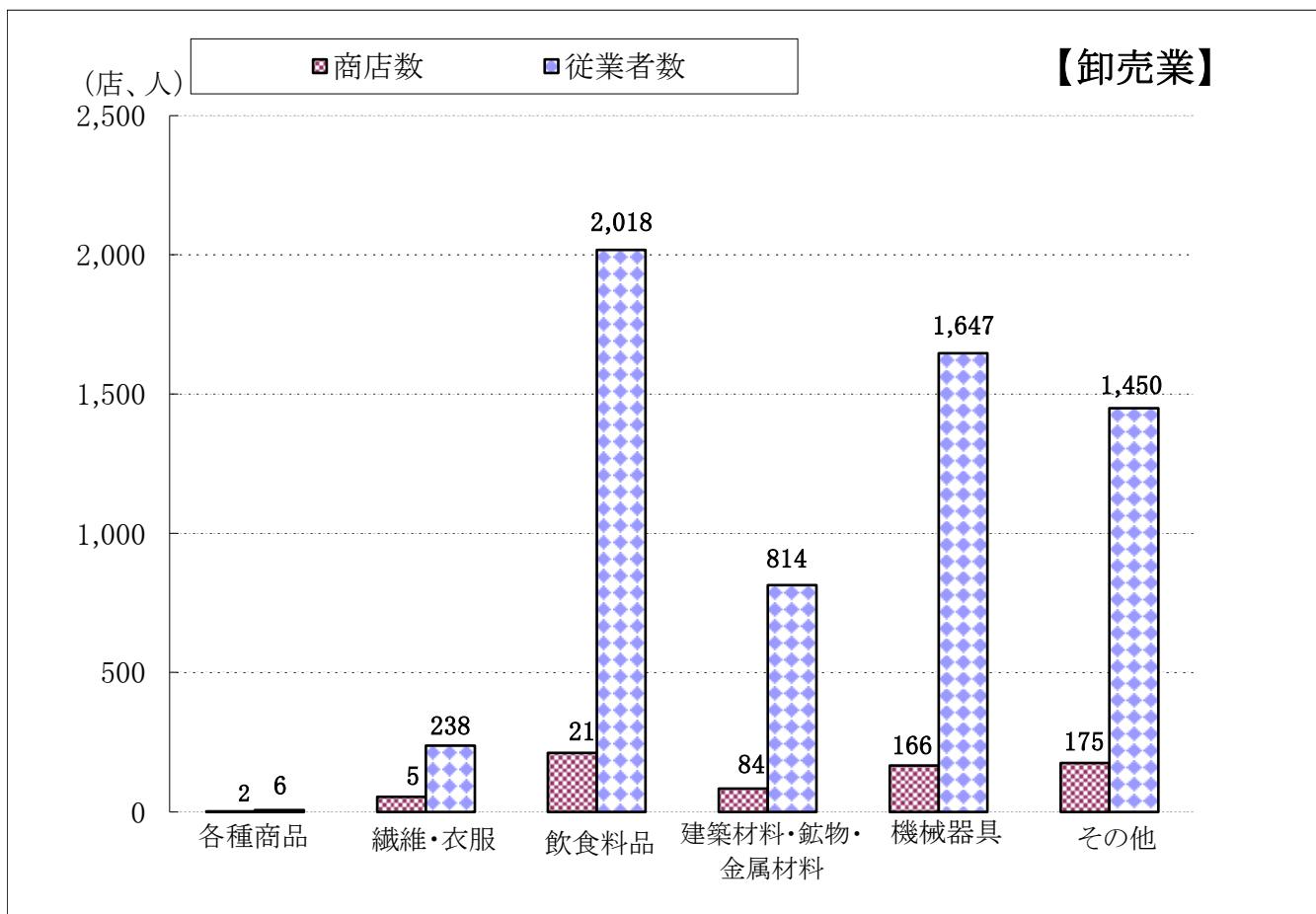


【市税収入状況】(平成30年度)

市税収入 49,995,995,000円



【産業中分類別商店数・従業者数】 (平成26年7月1日現在)





市民憲章

私たちは那覇市民であることに誇りを持ち、
みんなで明るく住みよいまちをつくるため、
すすんでつぎのことをまもりましょう。

- 1 私たちはまちを美しくしましょう
- 1 私たちは公共物を大切にしましょう
- 1 私たちは時間を守りましょう
- 1 私たちは交通道徳を重んじましょう
- 1 私たちは誰にも親切にしましょう

2022 市勢要覧
(発行 2022年4月)